

平成29年度 埼玉県秩父地域保健医療・地域医療構想協議会

議事概要

1 日 時 平成30年3月19日(月) 午後7時 から 午後8時20分まで

2 会 場 埼玉県秩父保健所 大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 委員総数 18人(出席14名、代理出席3名、欠席1名)

(2) 事務局 保健医療政策課、秩父保健所職員

(3) 傍聴者 2名

4 議事内容

(1) 議題

① 埼玉県地域保健医療計画【第6次】秩父保健医療圏の取組状況について

資料1により各団体の取組について、各団体所属の委員から説明。

(質疑等)

- なし。

② 埼玉県地域保健医療計画【第7次】(案)について

資料2により保健医療政策課が説明した。

(質疑等)

- 地域包括ケアシステムと医療計画と取り組みが重なる部分が多いと思うが、それぞれの計画で整合をとっているのか。県庁各課で個々に検討されている印象がある。横の連携を強くして、双方の基本的な事項を統一して決めてもらえると現場はやりやすいと思うがいかがか。

⇒ 地域包括ケアシステムについては高齢者支援計画に盛り込まれるが、各々の取組を一体的に進めるため、共通する指標や数値目標を双方の計画の中で定め、整合を図っている。また、両計画は、地域包括ケア課、高齢者福祉課、保健医療政策課をはじめとする医療・介護関係課が、取り組むべき課題等について共通認識を持ち作成している。計画を策定した後も連携して取り組んでいく。

③ 埼玉県地域保健医療計画【第7次】秩父保健医療圏の圏域別取組(案)について

資料3-1、-2、-3により、事務局が説明した。

⇒ 質疑の結果、事務局案のとおり了承された。

(質疑等)

- 資料3-2にあるように、既に意見を反映してもらっている。医療の人材確保を大きな項目で入れていただけると、もっと良かったのではないかと思う。
- 県の方にもいかに秩父地域が、いろんなことを考え、いろいろ努力し皆さんが協力してここまでやってきたということをおわかっていただければと思う。
- 医療計画とは直接関係しないが、薬局におけるHbA1c検体測定事業が実施されてから数年たっている。これに関して見解を聞きたい。
⇒ 県独自の取り組みというよりも、国から通知等も出しており、全国的な取り組みとして進められているものである。健診や医療機関をなかなか受診できない方もおり、生活習慣病発見の間口を広げる施策の一環だと認識している。
- HbA1cを測るといのは医療範疇であり、検査結果をだれが判断するのかなどいろいろ問題がある。我々医療人が混乱しないような形で進めていただきたい。
- 先ほど報告したが、薬剤師会として保健センターまつりで検体測定を実施しており、スムーズに受診勧奨できている。我々の現場では、何軒か検体測定室を始めているところもあるが、全体としてこれを取組もうという流れはない。医師会の御理解、御支援をいただきながらやらないと難しい部分があると考えている。

④ その他

参考資料2により、作業部会の開催について報告した。

(質疑等)

- 作業部会で、在宅で介護している方に金銭を払うことについての議論があったようだ。以前からたびたび議論になっている視点である。私は家族に支給したほうが良いと考えているが、消極的な意見もあるようだ。お金の渡し先が変わるだけではないか。
- 在宅介護を推進する中で、家族の介護は重要な視点である。介護保険の制度ができたときに在宅介護者に現金支給をした方が良いという意見はあった。しかし、社会で見ていく制度を作っていくうえで、家族に現金支給すると、どうしても家族に介護が集約されてしまう。まずは介護人材とか施設整備とか社会的な環境をもっと作っていく必要があるという議論が大勢を占めて現在に至っている。しかし、在宅介護は家族に負担をかけており、それをどう解消するかというのは常に問題になっている。今後議論が必要と考える。